

人数確認のポイント

人数の未確認から、行方不明、置き去りなどの事故が多く起こっています。園生活の中で、人数を確認することは1日に何回もあります。かけがえのない一人ひとりの命を守るために確認しています。子どもの顔を見て複数で確認しましょう。

登降園

- バスの送迎…乗車時、降車時に複数で人数確認しましょう。また、園バス利用園児の出欠席の確認を行いましょう。
- 毎日、子どもの出欠席について確認をし、職員間で共有しましょう。



園内

園庭や屋上から部屋に戻る等保育の場面が変わる時は必ず人数確認を行いましょう。



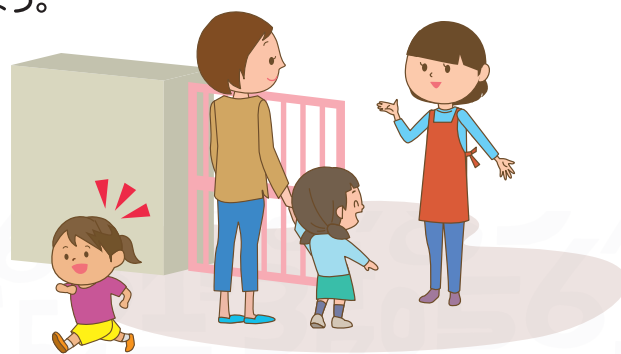
散歩(園外保育)

子どもの動きを常に確認し、職員の立ち位置はどうか、職員同士の声の掛け合いは十分か、子どもの移動の際に見失いが起きそうな場所を把握しているか等を確認しましょう。



門扉・玄関

門が開いた時に、子どもだけが園外へ出てしまうことがないように人数確認をし、ハード面の対策も行いましょう。



行方不明・置き去りを防ぐためのポイント

- 子どもの登園状況を確実に把握しましょう(出欠席や保育利用時間の把握、体調、欠席理由等)。
- 子どもが活動している様子を常に把握しましょう(どこで、誰と、何をしているか)。
- 園内外で見失いが起きそうな危険箇所を把握し、職員の立ち位置を考えましょう(死角を作らない立ち位置・明確な役割分担・持ち場を離れるときの声掛け)。
- 人数確認は、複数の職員で子どもの顔を見て名前を呼び、確認しましょう。
- 一人ひとりの子どもの姿を全職員で共有しましょう。